

2018年 2月5日

愛知県教育委員会

教育長 平松 直巳 様

愛知県下の小中学校における部活動問題に関する申し入れ書

愛知県教職員労働組合協議会

議 長 岩澤 弘之

部活動問題担当幹事 畦地 治

日頃より愛知県の教育や子どもの健全育成のために様々な活動を行っている貴団体に敬意を表します。

先日は、わたしたち愛教労と県教委教育企画課・体育スポーツ課との懇談の機会を設けていただきありがとうございました。その話し合いでも、あらためて部活動の在り方について大胆な改革が必要だ、という認識で一致できたと思います。しかしながらワーキンググループの動きをみていますと、部活動アンケート結果の集約が遅れている等、迅速感が足りないと言わざるをえません。そこで第3回ワーキンググループの会合を前に以下の点を話し合いの中心にすえるよう強くお願いします。

記

- 1、小学校の部活動は廃止の方向で検討すること。
全国的にみても小学校部活を実施している県はきわめて少数です。県下でも小学校部活を実施していなくても問題な教育活動が行われている地域もいくつかあります。
- 2、中学校の部活動の朝練習を新年度から実施しない方向で検討すること。
県の多忙化解消プランを受けて、各地域では真剣な議論が行われています。犬山市では、大会削減に向けて各種団体に働きかけようとしています。三河では豊橋に続いて朝練習を中止を考えている自治体もいくつかあります。ぜひその動きを後押しするよう提言を出していただきたい。
- 3、生徒の部活動参加を自由にする事
部活動への生徒の強制参加は子どもたちを苦しめています。無理にやらされた部活動が原因で命を落とす事態もおきています。部活動をやりたい生徒はやればよいと思います。しかし、やりたくない生徒に無理にやらせることは人権問題であり、教育的意義はないと考えます。
- 4、教職員の部活動顧問も自由にする事
教員の本務は授業にあります。しかしながら部活動づけの学校では本務である授業がないごしろにされています。「よい授業をしたい」という気持ちがあっても部活動顧問になったために、土日も部活動に従事し疲れ果てて翌日学校にくる教員も少なからずいます。部活動顧問を強制されたために教職から去った方もいます。それほど部活動顧問の強制は教員を苦しめています。簡単に「各学校できめること」と切り捨てることなく真剣に議論していただきたい。
- 5、仮採用の新任教員や臨時教員に部活動顧問をさせないこと。
新任教員は授業の準備や学級運営のことを最優先すべきです。また、臨時教員は正規正規教員になることが最優先です。採用試験前に部活動の大会に行く、ということが日常的に行われています。一人の青年教員の一生の問題を部活動でだいなしにしていいはずがありません。青年教員は本当に苦しんでいます。声をあげることができません。真剣な議論をお願いしたい。
- 6、ワーキンググループの話し合いに愛教労も参加させること。
愛教労には、部活動で苦しんでいる生徒・保護者・教員から様々な声が届いています。その声をみなさんに直接届けたいと考えます。愛教労の参加をぜひお願いします。